

寺報 佛心

第50号

日輪山 長久寺

【発行所】
岩国市美和町生見八一七
電話 〇八二七（九六）〇九八二
FAX 〇八二七（九六）〇九八二
発行人 三上宗順

お施餓鬼会のご案内

八月十五日(火曜日)

午後四時半から

山門大施餓鬼会

(有縁無縁の三界万霊の供養)

添施餓鬼会

(各家先祖の供養)

各家ご先祖のご供養については、
当日受付にて承ります。

ご供養をご希望の方で、当日
参詣できない等ご都合の悪い方は、
長久寺までご連絡下さい。



お盆廻(棚経)の日程について

左記の日程でお参りします。
戸が開けばお留守でもお勤め
をさせていただきます。

七月二十九日 地区外

三十日 地区外

八月一日午前 友重・平原

二日午前 野登路1班

三日午前 野登路2班

四日午前 市原1班

五日午前 市原2班

六日午前 国木原1班

七日午前 国木原2班

ご都合の悪い方は、長久寺
までご連絡ください。

よろしくお願い致します。



永代供養墓苑を増設中です

「終活」という言葉は余り好き
ではないのですが「人生の総括を
行い最期への準備をしておく」こ
とはとても大事なこともしれ
ません。人生を振り返れば、何
と多くの人に迷惑をかけ支えら
れて来たことかと感謝の念が生
まれ、それが最終コーナーへの心
構えにもなることでしょう。

その終活の究極が、墓じまいと
か仏壇じまい、そして自らの永
遠の住処の選択ということでは
うか。

ただ「しまう」は「終う」で、物
事を無かったことにするというこ
と。しかし仏壇やお墓は無かった
ことにできても、ご先祖は私たち

の中に流れている言わば血ですか
ら無かったことにはできません。
切っても切れないご先祖との関係
を「しまう」のではなく、もっと積
極的に日常生活に生かしていく
べきでしょう。そして自分の永遠
の住処も、たとえ無縁となると分
かっていても、他に迷惑をかけた
くないなどと決して消極的に考
えるべきではないと思います。

人間は幸せになるために生ま
れてきた。だから死者つまりご先
祖の、そして死後の自らの幸せを
考えることが、これからの余生の
充実にもつながるはずで。

この度長久寺の墓苑の一角に
樹木や石を配置し四季の移ろう
永代供養墓苑の増設工事を始め
ました。日常の喧騒から離れ、
自然に感謝し先祖に感謝し、そ
して今ある命に感謝する、亡き
人と今を生きる人の為の墓苑で
す。工事中ですが、墓苑の見学
をご希望の方は、ご連絡下さい。

奇跡の命、ちちははの恩

ちよっと前、新緑が眩しい四月の中旬のことです。

愛知県から7時間、自ら車を運転して「親父の50回忌法要を…」と来山されたYさんは80過ぎ。リニックから紫の風呂敷包みを取り出し、お位牌を両手にのせ、「僕の宝物はこれしかない」。

さらりと違って差し出された。

小1時間の滞在でしたが、心を洗ってもらったような、何だか私のための法要のようでした。

ところで両親を持たない者は誰もいません。みんな両親から生まれ、両親もそれぞれの両親から生まれ、そのまた両親も両親から生まれ……。

圧倒的な数の「ちちはは」のつながりの中で、今、私の命があるのですね。そのつながりの一つでも欠けると今の私はない。顔も知らない「ちちはは」、どんな「ちちはは」でも、「ちちはは」なくして

今の私はない。

誰の人生も、自分の都合の良いことばかりではありません。むしろ逆、だから四苦八苦。波瀾万丈。しかしこれは生き物がより進歩する為の試練でもあるようです。ともあれ命あつての物種。

ここ2、3日、日中の猛暑から逃れるように涼みに出れば満天の星。何だか目がクラクラ：

この宇宙は137億年前に出現したらしいですが、星の数は地球上の砂の数よりも多いそうです。から、目もくらむはずですね。

そもそも50億年前、宇宙のどこかの星の大爆発の爆風で太陽ができ、その渦の中でガスや粒子で地球が出来たらしい。そして38億年前、その地球に「生命活動の痕跡」が誕生。(ひとつとしてこれが「ちちはは」の始まり?)

4億年前、海から植物が陸に上がりイモリのような両生類が出て、哺乳類、ヒトの祖先は23

00万年前。ほんでやっと5000万年前に人類の時代が到来。

それはそれは長い長い氷河期・温暖・巨大隕石・火山の爆発など環境激変の中での奇跡や偶然・進化や滅亡の果の果に、今の人類があるというのです。こんな過酷の中で「ちちはは」は、私に何を伝えたかったのでしょうか。

現在は空前絶後の温暖化だそうですが、これは人類の仕業!! さらにその人類は、この一瞬に人類が絶滅する程の核を持つているらしいです。12、520発! ウクライナ戦争は核戦争になるかもしれない。どうやら人類滅亡の危機? しかも煩惱(貪り・怒り・愚かさ)がもたらす滅亡。

でも大丈夫です。この人類が滅亡するほどの核戦争でも生き残る種がいるのです。ひよっとすると泳いで飛んで走れるあなたの嫌いな(?)ゴキブリが、人類亡き後、この核戦争で突然変異し進

化し知能を持ち、平和で緑豊かな地球にするかも……。

それにしても冒頭のYさんの宝物は、実は滅亡と進化の38億年という悠久の流れの中に存在しているのですね。

地球・命の誕生、人類の出現、そして今ある私の命。これは何千何億の奇跡的な「ちちはは」のつらなりの中にある。だから宝物。であるならば、この宝物に真心

を捧げるのを先祖供養というのでしょうか。死者への畏敬の念は、1万年前の縄文時代の人類に、すでに有ったと言われていますね。

厄介なのはその念と同じ心に、勝った負けた損した得したが生じる。自分を傷つけ相手を傷つける。究極が戦争。そして性懲りもなく繰り返す。

なーんとエラそうに。お前など大宇宙からすれば大気に浮遊するPM2.5。じゃがのお前も「ちちはは」の恩だけは忘れるなよ。